



令和3年7月、鋸山が「日本遺産候補地域」に認定されました。現在、鋸南町と共同で「日本遺産認定」を目指し、両市町にまたがる鋸山を舞台に展開した歴史・芸術・文化の特色や魅力を国内外に向けて伝えていくための「情報発信」や「人材育成」などの事業に取り組んでいます。



「澄んだ穏やかな初冬朝のひとつとき」

写真提供：大堀・馬淵 健夫さん

富津絶景⁴⁵

富津市内には、素晴らしいスポットがあります。こっそり独り占めせず、欲びを分けてください。皆様のご応募をお待ちしております。
(上記編集先まで)

創刊200号記念企画 …………… 2～3 P

12月定例会…………… 4～5 P

議決結果…………… 6 P

個人質問…………… 7～11 P

トピックス・定例会日程…………… 12 P

創刊200号記念企画

昭和47年5月の発行から数えて200回目という
節目を記念して、歴代正副議長を紹介します。

※初代から第24代までの写真は、富津市議会正副議長応接室に掲額されている
肖像画を使用しています。

第4代



嶋田 政市

昭和57年6月～昭和59年4月

第3代



下間 利

昭和55年5月～昭和57年6月

第2代



大森 一郎

昭和51年5月～昭和55年4月

初代



茂木 静雄

昭和46年9月～昭和51年4月

第8代



小間 庄一

平成2年5月～平成4年4月

第7代



中村 繁

昭和63年5月～平成2年5月

第6代



三枝 茂

昭和61年6月～昭和63年4月

第5代



安田 博次

昭和59年5月～昭和61年6月

第12代



加地 宏

平成8年5月～平成8年9月

第11代



込宮 和彦

平成7年11月～平成8年4月

第10代



相原 重雄

平成6年5月～平成7年11月

第9代



澤邊 治夫

平成4年5月～平成6年5月

第16代



三平 正昭
平成14年5月～平成15年9月

第15代



高橋 謙治
平成12年5月～平成14年5月

第14代



木村 茂
平成10年5月～平成12年4月

第13代



高梨 良勝
平成8年9月～平成10年5月

第20代



鈴木 敏雄
平成20年5月～平成22年5月

第19代



嶋田 政市
平成18年3月～平成20年4月

第18代



小林 新一
平成16年5月～平成18年3月

第17代



鈴木 博
平成15年9月～平成16年4月

第24代



平野 明彦
平成28年5月～令和2年4月

第23代



鈴木 幹雄
平成26年5月～平成28年4月

第22代



平野 明彦
平成24年5月～平成26年5月

第21代



福原 敏夫
平成22年5月～平成24年4月

歴代副議長

区分	氏 名	在 任 期 間	区分	氏 名	在 任 期 間
初代	岩崎 一男	昭和46年9月～昭和47年4月	14	渡邊 茂	平成8年5月～平成10年5月
2	斉藤 實	昭和47年5月～昭和51年4月	15	川名市太郎	平成10年5月～平成12年4月
3	竹ノ内幸一	昭和51年5月～昭和52年6月	16	平野 良一	平成12年5月～平成14年5月
4	榎本吉太郎	昭和52年6月～昭和53年6月	17	平野 義夫	平成14年5月～平成16年4月
5	小間 庄一	昭和53年6月～昭和55年4月	18	福原 敏夫	平成16年5月～平成18年5月
6	鈴木 庄治	昭和55年5月～昭和57年6月	19	竹内 洋	平成18年5月～平成20年4月
7	小柴義五郎	昭和57年6月～昭和59年4月	20	平野 明彦	平成20年5月～平成22年5月
8	梅田 孝	昭和59年5月～昭和61年6月	21	澤田 春江	平成22年5月～平成24年4月
9	宮崎 実	昭和61年6月～昭和63年4月	22	永井庄一郎	平成24年5月～平成26年5月
10	澤邊 治夫	昭和63年5月～平成2年5月	23	石井 志郎	平成26年5月～平成28年4月
11	木村 茂	平成2年5月～平成4年4月	24	岩本 朗	平成28年5月～令和2年4月
12	藤野 勉	平成4年5月～平成6年5月	25	平野 英男	令和2年5月～
13	高梨 良勝	平成6年5月～平成8年4月			

第25代



渡辺 務
令和2年5月～

12月 定例会

◆ 条 例 等

▼職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正

▼富津市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正

▼火入れに関する条例の一部を改正

▼固定資産評価審査委員会条例の一部を改正

それぞれに係る署名・押印等を不要とするため、条例の一部を改正するものです。

▼財産の取得（青堀保育園舎等）

青堀保育園を運営する社会福祉法人から撤退の申出があり、民間事業

令和3年12月定例会は、11月26日から12月16日までの21日間で開催されました。議案25件、報告5件、議案1件について審議を行いましたので、その主なものを報告します。なお、議案等の採決の結果は、6ページをご覧ください。

者による運営に向け青堀保育園舎等を取得することについて、議会の議決を求めるものです。

▼飯野・佐貫・天神山・竹岡・金谷コミュニティセンターの指定管理者の指定

各コミュニティセンターの指定管理者の指定期間が令和4年3月31日をもって終了することに伴い、各施設の指定管理者を指定することについて、議会の議決を求めるものです。

区 分	指定管理者
飯野コミュニティセンター	飯野地区コミュニティ委員会
佐貫コミュニティセンター	佐貫地区コミュニティ委員会
天神山コミュニティセンター	天神山地区コミュニティ委員会
竹岡コミュニティセンター	竹岡地区コミュニティ委員会
金谷コミュニティセンター	金谷地区コミュニティ委員会

▼富津老人憩の家の指定管理者の指定

富津老人憩の家の指定管理者の指定期間が令和4年3月31日をもって終了することに伴い、同施設の指定管理者を引き続き富津市老人クラブ連合会富津支部に指定することについて、議会の議決を求めるものです。

▼金谷海浜公園の指定管理者の指定

金谷海浜公園の指定管理者の指定期間が令和4年3月31日をもって終了することに伴い、同施設の指定管理者を引き続き富津市観光協会金谷地区に指定することについて、議会の議決を求めるものです。

▼青堀・大貫・関豊ふれあいシニア館の指定管理者の指定

各ふれあいシニア館の指定管理者の指定期間が令和4年3月31日をもって終了することに伴い、各施設の指定管理者を指定することについて、議会の議決を求めるものです。

区 分	指定管理者
青堀ふれあいシニア館	青堀ふれあいシニア館管理運営委員会
大貫ふれあいシニア館	大貫ふれあいシニア館管理運営委員会
関豊ふれあいシニア館	関豊ふれあいシニア館管理運営委員会

▼高宕山自然動物園の指定管理者の指定

高宕山自然動物園の指定管理者の指定期間が令和4年3月31日をもって

て終了することに伴い、同施設の指定管理者を高宕山自然動物園管理運営協議会に指定することについて、議会の議決を求めるものです。



高宕山自然動物園の様子

◆ 補 正 予 算

▼一般会計
(1) 補正予算第8号
(補正額 2億4874万円)

国の施策に伴う子育て世帯臨時特別給付事業に係る経費及びこれに関連する歳入を計上するほか、繰越明許費の補正をするものです。

・子育て世帯臨時特別給付事業

(2億4874万円)

新型コロナウイルス感染症の影響

を受けた子育て世帯を支援するため、子育て世帯臨時特別給付金（対象児童1人につき5万円）を支給する。

(2) 補正予算第9号 (補正額 3億7663万円)

3回目接種に係る新型コロナウイルスワクチン接種事業、出張所及び連絡所の廃止に伴う郵便局包括事務委託事業、介護・訓練等給付事業などに係る経費及びこれらに関連する歳入を計上するほか、地方債などの補正をするものです。

・ 新型コロナウイルスワクチン接種事業 (1億1829万円)

新型コロナウイルスワクチンについて、2回目の接種から概ね8か月以上経過した人を対象に、令和3年12月以降、3回目の接種を行う。

・ 警防活動運営事業

(239万円)

感染症の疑いがある患者、免疫力が低下している患者用の搬送具を購入することで、患者を安全に搬送するとともに、救急隊員の感染リスクの軽減、また、出勤時間の短縮を図る。



患者用の搬送具
「アイソレーター」

・ 学校給食管理運営費

(51万円)

学校給食費について、令和4年9

月分から徴収業務を学校から市へ移管することに伴い、各学校の給食費を一括管理するため、給食費管理システムを構築するための作業を開始する。

・ 郵便局包括事務委託事業

(80万円)

令和3年度末をもって峰上出張所、関豊連絡所及び金谷連絡所を廃止することに伴い、令和4年度から戸籍、住民票、税証明の発行業務など、行政サービスの一部を関尻郵便局及び金谷郵便局で取り扱うための準備を行う。



令和4年3月31日をもって廃止される峰上出張所

◆ 議案

▼ 富津市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定

(提出者：福原 敏夫 議員
賛成者：三木 千明 関 努 議員)

議会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付される政務活動費の現在の交付額月額3万円を、近隣他市と同額の月額2万円に引き下げるため、条例の一部を改正するもので、次の討論(反対5件・賛成2件)がありました。

(反対討論)

・ 議員定数が減れば、代表を出せない地域などが出てくる。議員が少なくなるのであれば、議会自ら地域に向かい課題を吸い上げる、それが議会報告会であり、意見交換会である。今まで地方創生研究会を立ち上げるなど、公共交通、空き家問題等の課題解決に向けて取り組んできたが、その活動に政務活動費を活用することができなかった。ここに議論すべき課題が残っている。コロナウイルス感染症の影響により、活動の制限を受け立ち止まっている中、その課題について、議会活動を含めて議論せずに削減することに反対する。

・ 議員定数を2名削減したことにより、全く議員がいらない地域も出てくるため、その地域と意見を交わしていかねばならないと政務活動費を1万円から3万円に引き上げた。現在の執行率は低いが、コロナが収束した後に先進地を行政視察し、富津市のために研究していかねばならない。この我々に与えられたものを自ら引き下げることによって、

活動を抑制することになると思うので反対する。

・ 発議案が提出されることを前日に説明を受けたが、この発議案の是非について、しっかりと理解した上で判断したいため反対する。

(賛成討論)

・ 今回の政務活動費減額は、平成27年に行われた報酬減額に伴う政務活動費増額に対して、報酬が元に戻ったため、政務活動費を減額しようとするもので、ここ数年間の予算に対する執行率が30%前後と低い状況で推移している。政務活動費を十分活用せず、3万円なければ活動できない「このようなことは許されず、議員特権ではない。皆さんがこれから市民に堂々と政務活動費の使途を言えるような議会改革をしていきたい」と思い賛成する。

・ やって来たことをそのまま継続すること、それだけでは、反省も期待も何も生み出すことができない。行われてきたことに関しては必ず検証し、その事実に基づき、今後、我々はどうすべきか、検討することもせず、改革も進歩もあり得ない。改選後、1年間の政務活動費の執行率28・3%、要因は色々あると思うが、これは一つの事実。この執行率を踏まえ、現状の3万円からその金額を見直す必要があるのではないかと。また、近隣市においても政務活動費月額2万円の交付であるという現実を目を向け、月額2万円への減額に賛成する。



令和3年12月定例会の 議決結果



※議案25件、報告5件、発議案1件の議決結果は次のとおりでした。

議 案 等	議決結果	宮崎 晴幸	渡辺 純一	三富 敏史	福田 好枝	関 努	猪瀬 浩	諸岡 賛陸	三木 千明	千倉 淳子	山田 重雄	平野 英男	佐久間 勇	石井 志郎	平野 明彦	福原 敏夫	渡辺 務議長	
一般職の職員の給与等に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
財産の取得（青堀保育園園舎等）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
富津市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
令和３年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第２号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
令和３年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
令和３年度介護保険事業特別会計補正予算（第２号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
飯野コミュニティセンターの指定管理者の指定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
佐貫コミュニティセンターの指定管理者の指定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
天神山コミュニティセンターの指定管理者の指定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
竹岡コミュニティセンターの指定管理者の指定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
金谷コミュニティセンターの指定管理者の指定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
富津市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
富津老人憩いの家の指定管理者の指定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
青堀ふれあいシニア館の指定管理者の指定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
大貫ふれあいシニア館の指定管理者の指定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
関豊ふれあいシニア館の指定管理者の指定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
金谷海浜公園の指定管理者の指定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
高宕山自然動物園の指定管理者の指定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
令和３年度一般会計補正予算（第８号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
令和３年度一般会計補正予算（第９号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
専決処分の報告（５件）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
富津市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定（発議案）	原案否決	●	●	●	○	○	●	●	○	●	●	●	●	○	●	○	○	－

議長は、地方自治法の規定により、採決に加わりません。
議案名中の『富津市』及び『～について』は省略表示しています。

○＝原案賛成 ●＝原案反対

道路整備・障がい福祉



山田 重雄
議員

問 一日も早く宇藤木地区の道路整備を完成させ、地区の皆様の不安を取り除いていただきたいと思うが、治山工事で中止していた水道工事の予定は。

総務参与 令和4年度に配水管布設・豊岡第5増圧ポンプ場新設を計画。完了後に給水が可能となる。

問 天羽中周辺の道路整備は、生徒や保護者、スクールの安全確保のため、早期完成に向け一層の努力をお願いしたい。市道湊富士見台線の用地買収の進捗状況は。

建経部長 用地買収対象12件のうち、3件が契約済で、2件は交渉中、残りの7件は分筆に必要な筆界確認書の取得が所在不明等の理由により遅れている。

問 障害者基幹相談支援センターを設置し、障がいのある方や家族からの様々な相談に対応していることと、センターが担う業務が、順次実施されていることが確認でき、大変心強く感じている。新型コロナウイルス感染症への相談も多く、不安がいかに大きいかうかがい知れる。また、多種多様な相談に対し、相談者に寄り添った丁寧な支援が必要と考える。どの

ような対応を図っていくのか伺う。

健福部長 様々な相談に対し、自宅や施設へ訪問して対応を図るほか、関係者で支援の在り方を検討・検証する個別支援会議や関係機関等との連絡調整や協議を行う会議への出席。相談者へ直接行う具体的な支援内容は、「健康・医療に関する支援」として、医療機関等の紹介や同行、生活のリズムや生活習慣への助言。「福祉サービスの利用等に関する支援」として、サービスの情報提供、事業者の紹介やサービスの対する苦情対応。「生活技術に関する支援」として、金銭管理や家事・育児に関する助言など、多岐にわたる相談に対し、相談者一人一人に寄り添った丁寧な相談支援を行っている。



道路整備が完了した天羽中学校付近

「支え合いまちづくり」の構築に向けて



佐久間 勇
議員

問 支え合いまちづくりを進める上で、防災・減災について市の取り組みと住民に求めるものは。

市長 令和2年度に国土強靱化地域計画の策定及び地域防災計画の見直しを行い、災害に強い安全安心なまちづくりを進めている。具体的には、避難勧告等発令基準の見直し、情報伝達手段の強化、風害による電力設備への被害防止対策や関係機関との協定による迅速な道路復旧体制の整備など、災害対応力の強化を図っている。住民の皆様には「自らの命を守り、自分たちの地域を守る意識を持ち、自主防災組織を中心に平時から、地域防災力の向上に努めていただきたい」と考えている。

問 福祉についてはどうか。

市長 市民が健康でいつまでも住み続けたいと思える地域社会の実現のため、要援護者地域見守り事業や障がい福祉に関する相談支援、認知症カフェの設置を支援。今後とも、市民の皆様にも地域の支え合いにお力添えをいただき、住み慣れた地域で誰もが安心して元気に生活できるまちづくりの構築に向け、各種施策を実施する。

問 災害弱者と言われる人たちの地震時の避難は。

総務部長 避難経路などが明確に定められていないことが多いことから、円滑かつ迅速な避難に結び付けるため、現在、要支援者等と協議をしながら個別避難計画の作成を進めている。

問 高齢者福祉として行政が行っていることは。

健福部長 高齢者が「地域でいきいきと輝くまち」を達成するため、3つの目標として、1つ目に「健康づくりを推進」、2つ目に「在宅生活が継続できる体制整備」、3つ目に「地域でのつながりを強化」を設定。支え合い活動推進のため、地域づくりの支援に取り組んでいる。



「支え合いまちづくり」で笑顔あふれる富津市に！

住みたいまち、より良い 富津市を目指して



関 努
議員

問 ゼロカーボンシティ宣言について市の考えを伺う。

市長 地球温暖化と向き合い、意欲的に取り組んでいく。

問 富津市環境基本計画、再生可能エネルギーの普及について伺う。

市民部長 太陽光発電等に費用の補助をしている。普及促進には、市民一人一人にご理解とご協力をいただくことが必要と考える。

問 富津市地球温暖化対策について伺う。

市民部長 公用車の電気自動車などへの切り替えや公共施設の再生可能エネルギー導入等に取り組み、二酸化炭素排出の削減に努める。

問 ブルーカーボンについて伺う。

市民部長 地球温暖化対策として有効な手段である。国や千葉県と連携して進めていく。

問 マイナンバーカードの保険証使用について、今後の取り組みは。

市長 利便性や安全性の説明など理解を得て、利用促進に努める。

問 市内で突風被害があったが、地元気象台との連携状況について伺う。

総務部長 銚子気象台が定めた基準等に基づき、土砂災害警戒情報

等が発表されると直接連絡が入る。気象災害の専門家を育成していくことも重要であると考えている育成について伺う。

総務部長 内閣府などが実施する災害対応の知識やスキル、ノウハウを身に付けるため、防災スペシャリスト養成研修や自主防災組織育成コース等を受講させている。



40キロに及ぶ海岸線を有する富津市。ブルーカーボンは地球温暖化対策の有効な手段となる

問 企業がふるさと納税の取り組みについて伺う。

総務参与 市にゆかりのある企業を積極的に訪問。市ホームページやSNS等で企業を募っていく。

問 コロナワクチン3回目接種に向けた取り組みについて伺う。

健福部長 円滑に接種を進めるため、医師会、医療機関等と連携を図り、接種体制を構築していく。

問 人口減少対策としての子育て支援で、子どもの医療費助成を高校生まで拡充すべきではないか。

健福部長 人口減少対策として有効な手段だが、十分でない取り組みもある。支援策の充実を図り、きめ細やかな支援を行っていく。

問 県内で給食費の補助を実施している27自治体のうち、8町が全額補助、他の市町も何らかの補助をしている。市は給食費の無償化などの補助を考えていないのか。

教育部長 市単独の無償化は現状では困難。今後、国や県への要望を検討していく。

問 市立図書館をイオンモール富津内に設置することについて、イオンからの提案以外で、市の所有する土地に設置する考えや計画はなかったのか。

教育部長 イオンモール富津からの提案以外で、具体的な検討は行われていない。

問 イオン富津は設置時点で30年経過。40年、50年後が不安だが、教育部長 10年間という形で進め、その後も契約を検討し進めていく。

ワクチン・子育て支援・ 図書館について



福田 好枝
議員

問 8月以降に12歳～15歳の方へのコロナワクチン接種券を発送しているが、接種した人数は。

健福部長 11月末現在、対象者1107人のうち、2回目接種を終えた方は860人で77・7%。

問 ワクチンの3回目接種の準備をしていると思うが、想定している開始時期は。

健福部長 国の対応方針に基づき2回目接種完了から8か月経過後に接種できるよう準備を進め、初めに医療従事者へ令和4年1月から開始。国からの供給計画を見定め、順次接種を進める予定。

問 インフルエンザ予防接種を任意で受ける方への助成の検討は。

健福部長 高齢者等への補助を行っているが、任意接種の方への補助は実施していない。現時点では補助の拡充も考えていない。

問 人口減少対策としての子育て支援で、子どもの医療費助成を高校生まで拡充すべきではないか。

健福部長 人口減少対策として有効な手段だが、十分でない取り組みもある。支援策の充実を図り、きめ細やかな支援を行っていく。

問 県内で給食費の補助を実施している27自治体のうち、8町が全額補助、他の市町も何らかの補助をしている。市は給食費の無償化などの補助を考えていないのか。

教育部長 市単独の無償化は現状では困難。今後、国や県への要望を検討していく。

問 市立図書館をイオンモール富津内に設置することについて、イオンからの提案以外で、市の所有する土地に設置する考えや計画はなかったのか。

教育部長 イオンモール富津からの提案以外で、具体的な検討は行われていない。

問 イオン富津は設置時点で30年経過。40年、50年後が不安だが、教育部長 10年間という形で進め、その後も契約を検討し進めていく。

県内の給食費の主な補助状況

全 額 補 助			
神 崎 町	東 庄 町	多 古 町	芝 山 町
大多喜町	横芝光町	鋸 南 町	長 南 町
一 部 補 助			
①第3子以降全額補助			
市川市	浦安市	我孫子市	匝 瑳 市
旭 市	酒々井町	栄 町	※袖ヶ浦市
②地元産米購入費等補助			
野田市他13市町			

※袖ヶ浦市は2022年1月から補助開始
その他は2021年4月1日現在の状況

子どもへの虐待防止対策 ヤングケアラー支援体制



渡辺 純一
議員

問 他市の虐待に関わる検証報告書で児童相談所（以下「児相」）や保健センター、教育委員会等との連携に大きな改善点が必要と指摘。市の横の連携強化はどうか。

健福部長 庁内関係各課をはじめ、児相、警察署、保健所等で構成する「富津市要保護児童対策地域協議会」を設置。また、協議会の活動を機能的・実働的に運用するため「代表者」「実務者」「個別支援」と目的別会議構成とした上で、関係機関相互の情報共有等を図り、連携強化に努めている。

問 市のDV虐待防止計画の中に「窓口を整備・周知を行い、子どもを含め市民が躊躇なく相談できるよう工夫」とあるが。

健福部長 窓口整備は、子育ての話何でも聴きます窓口の設置、出張相談、カナリエによるZOOM相談を実施。今後は、子どもがより気軽に相談できるよう、SNSを活用した相談窓口の開設を検討。

問 実際に虐待の疑いがある場合、初動体制等を伺う。

健福部長 情報収集、児童の安全確認を原則48時間以内に家庭訪問等で目視確認を行う。また、確認

後は、コアメンバー会議を開催。緊急性が高い場合には、児相と協議し緊急一時保護対応等を実施。

問 次に、児童生徒へのヤングケアラーの把握方法は。

教育部長 学校における日常の声かけや観察等の他、アンケートや教育相談を通じて把握。

問 県は本年度6月補正予算でスクールカウンセラー等の増配置を表明。市における変化は。

教育部長 令和3年9月からスクールカウンセラーの追加配置があり、これまで未配置の小学校5校に（月に1日）5名配置となった。



ヤングケアラーとは、大人が担うような家族の介護や兄弟の世話を担い、自らの育ちや教育に影響を及ぼす18歳以下の者

地球温暖化対策／農作物等の被害対策／健全な国保事業



三富 敏史
議員

問 温暖化は、地球全体に深刻な影響を及ぼす問題として、京都で開催された気候変動枠組条約会議での京都議定書の採択を受け、温暖化対策推進法が成立。その後継となるパリ協定の目標達成に向け、同法が改正されたが市の対応は。

市長 近年、地球温暖化に起因すると思われる自然災害が多発する中、二酸化炭素等の排出抑制に向けて、意欲的に取り組んでいく。

問 令和元年度は、房総半島台風の影響により不規則であったが、燃料使用量等の削減ができたかで評価するゼロ宣言に挑戦してもよいのではと考えるが市の見解は。

市民部長 市環境基本計画における脱炭素に関する内容の見直しを行い、地球環境に配慮し、二酸化炭素の排出抑制に向けて取り組む。

問 農作物への被害防止対策を更に推進するため、本年6月に改正鳥獣被害防止特措法が成立。その背景には狩猟免許所持者の高齢化に伴う狩猟人口の減少にあるようだが、市の捕獲体制について伺う。

建経部長 有害鳥獣の捕獲は、委託先の構成員である君津猟友会富津支部及びわな駆除会の会員が捕

獲従事者として捕獲を行っている。

問 特定健診等は、40歳から74歳を対象に生活習慣病の予防と改善を目的に実施。市第2期保健事業実施計画において、特定健診等の実施率の向上を指標としているが、実現するための具体策は。

市長 健診未受診者対策に重点を置き、特に受診率が低い若年層から優先的に受診勧奨を実施。

問 令和2年度の国保会計は、様々な取り組みが高く評価されているが、単年度実質収支では赤字決算である。今後、健全な国保事業の運営に資するための考えは。

健福部長 安定的な国保財政の運営を行うため、中期的な収支見通しを立て、計画的に収入を確保し、健全な国保運営の実施に努める。



地球温暖化を防ぐためには、我々一人一人が省エネに取り組み、CO2削減を図っていかなければならない

公有財産運用の民間活力導入・行政文書の管理及び開示

問 議会へ青堀保育園園舎の買い戻しについて詳しい説明をしようとしなかった理由は。

健福部長 適切な時期に説明をしてきた。

問 市立保育所の施設を無償で貸し出し、修繕等も市が負担する場合、自ら保育施設を管理する民間事業所との不公平感を生むことになると思うが、どう考えるのか。

健福部長 今後の市立の保育所に

関する再配置推進計画を策定していく中で考えていく。

問 長期契約となると思うが、当時どのような経緯で契約書を作成したのか知る人物が庁舎内にいなくなる、今回の青堀保育園園舎のように、交渉が難しくなってしまうと考える。長期契約を結ぶ場合は、打ち合わせ等の交渉記録もしっかりと作成し、契約が満了してからも数年間は保存する等の規定を設けるべきだと考えるが。

総務部長 契約に係る打ち合わせは、市の意思決定の過程なので、長期契約であることを理由に長期保存の対象に規定する考えはない。

問 審議会等の開催案内を市ホームページのトップページに掲示す

るよう庁内に周知していただき、感謝する。今後ともトップページへの掲示を継続してもらえるか。

総務部長 会議公開の予告については、開催する1週間前までに事前公表を行うと規定している。

問 公開会議の録音データに対する市情報公開条例における定義は、**総務部長** 録音データは行政文書に該当するので、不開示情報以外の情報は開示可能と考える。

問 他自治体では、公開会議を動画配信・音声配信する等で公開しているところもあるが。

総務部長 先進自治体等の事例を研究していく。

別表1		建築物と衣類類化入高が等化社会との発達の歴史表		【昭和15年5月1日現在】	
表出し	表出し	表出し		表出し	
		表出し	表出し	表出し	表出し
(中絶)					
建築物の建築	第1条	建築物の建築は、その建築した建築物の用途に於ける用途とする。	第1条第1項 第1項	建築物の建築に於ける用途は、その建築した建築物の用途とする。	建築物の建築に於ける用途は、その建築した建築物の用途とする。
建築物の取り壊し	第2条	建築物の取り壊しは、その建築した建築物の用途に於ける用途とする。	第2条第1項	建築物の取り壊しに於ける用途は、その建築した建築物の用途とする。	建築物の取り壊しに於ける用途は、その建築した建築物の用途とする。
建築物の修繕	第3条	建築物の修繕は、その建築した建築物の用途に於ける用途とする。	第3条第1項	建築物の修繕に於ける用途は、その建築した建築物の用途とする。	建築物の修繕に於ける用途は、その建築した建築物の用途とする。
建築物の所有	第4条	建築物の所有は、その建築した建築物の用途に於ける用途とする。	第4条第1項	建築物の所有に於ける用途は、その建築した建築物の用途とする。	建築物の所有に於ける用途は、その建築した建築物の用途とする。
建築物の管理	第5条	建築物の管理は、その建築した建築物の用途に於ける用途とする。	第5条第1項	建築物の管理に於ける用途は、その建築した建築物の用途とする。	建築物の管理に於ける用途は、その建築した建築物の用途とする。
建築物の用途	第6条	建築物の用途は、その建築した建築物の用途に於ける用途とする。	第6条第1項	建築物の用途に於ける用途は、その建築した建築物の用途とする。	建築物の用途に於ける用途は、その建築した建築物の用途とする。
建築物の建築費	第7条	建築物の建築費は、その建築した建築物の用途に於ける用途とする。	第7条第1項	建築物の建築費に於ける用途は、その建築した建築物の用途とする。	建築物の建築費に於ける用途は、その建築した建築物の用途とする。
建築物の所有権	第8条	建築物の所有権は、その建築した建築物の用途に於ける用途とする。	第8条第1項	建築物の所有権に於ける用途は、その建築した建築物の用途とする。	建築物の所有権に於ける用途は、その建築した建築物の用途とする。
建築物の管理権	第9条	建築物の管理権は、その建築した建築物の用途に於ける用途とする。	第9条第1項	建築物の管理権に於ける用途は、その建築した建築物の用途とする。	建築物の管理権に於ける用途は、その建築した建築物の用途とする。
(中絶)					

議会への説明が省略された青堀保育園園舎の買い戻しに関する庁内で回議された行政文書の一部（開示請求して判明したもの）



猪瀬 浩
議員

市民参画について 保育所の再配置について

問 市民参画とは、どういった意味だと認識されているか。

総務参与 市民参画とは、市が行う政策がより良いものとなるよう、市民の皆様に関わっていただくことであると認識している。

問 今の富津市は、実際に市民参画がなされていると思うか。

総務参与 パブリックコメントなどにより、市の政策に関わっていただく機会を設けることで市民参画を実現しているものと認識。

問 重要な計画を職員の皆さんが時間をかけて実行されているのと

同じように議員がそれを熟考するとすれば、どのくらいの時間が必要だと思うか。

総務部長 答えは控える。

問 市議が市民の意見を聞いて市

議会に持ってくるまでに、どのくらい時間が要達と思うか。

総務部長 答えは控えるが、市議会議員は市民の代表なので、市議会議員の声そのものが市民の声であると考えている。

問 富津市内の保育所の再配置の基本的な考え方について。

市長 少子化の進展に伴い入所児童数の減少傾向が続く中、子ども



市内の保育施設の現状等を整理し、市立保育所の再配置を進めていくため策定する「市立保育所再配置計画」

たちの保育環境の向上を図るため

民間活力の積極的な活用、公共施設等総合管理計画との整合を図り、市立保育所の再配置を進めていく。

問 現在、青堀保育園を運営している高砂福祉会の撤退の経緯と現状について。

健福部長 経営状況を改善できる
よう定員を減じ、運営費の単価を

高くし、収入の増を図ったが改善せず、早期撤退の考えは変わらず昨年11月に撤退の申出がなされた問 市内で最も児童が多い青堀地

区での今回の撤退となるが、その他の保育所の民営化はなおさら難しくなるのでは。

健福部長 子どもたちに保育環境を提供することを第一に考え、市立保育所の再配置を進めていく。



千倉 淳子
議員

次世代の富津市に向けて



宮崎 晴幸
議員

問 次世代に向けての子育て支援について伺う。

市長 今年度から、産前産後ヘルパー派遣事業、子育て短期支援事業、すくすくギフト事業等に取り組んでいる。子育て中の親子を孤立させないよう、きめ細やかな支援に取り組んでいく。

問 「すくすくギフト事業」について伺う。

健福部長 出生等の翌月から1歳の誕生日まで、カタログから選んだ育児用品を毎月自宅へ配送している。

問 本年10月から開始した子育て短期支援事業について伺う。

健福部長 保護者が病気や就労等で養育が困難になった場合に一時的に児童を預かり、食事の提供や身の回りの世話などの生活支援を行っている。

問 人・農地プランの進捗状況について伺う。

建経部長 現在は、竹岡と関の2地区のプラン作成に向けた作業を進めている。

問 現在の就農状況について伺う。
建経部長 西川地区は夫婦で新規就農がある。また、岩瀬地区では、

法人によるシャインマスカットを栽培する施設整備が行われている。
問 タクシー運賃助成事業について伺う。

総務参与 運転免許証を保有していない65歳以上の方や運転が一次的に困難となる妊産婦等に1枚500円の利用券を年間最大48枚、交付している。

問 拡充を行った効果については。
総務参与 10月を基準に対前年比較すると、市内3地区全て2倍以上増加している。

問 天羽地区のタクシー運賃助成以外の移動手段の検討は。
総務参与 本年4月から峰上地区において、新たな交通手段確保に向け、区長の皆様と継続的な話し合いを行っている。



令和3年4月から開始した「すくすくギフト」。おむつなどの育児用品を月額3,500円まで自己負担なく受け取ることができる

市制施行50周年を迎え、富津市のこれからの50年に向けて



三木 千明
議員

問 次の50年も持続可能な自治体となるため、課題解決と新しい取り組みに絶えずチャレンジしていくことが求められているが、現状の課題等から目指すべき富津市のまちづくりについて伺う。

市長 市には海や山などの豊かな自然環境、都心からのアクセスの良さ、レジャースポットなど、一生を過ごすステージとして選ばれる自慢のものがあふれている。「住み続けたい」「移住したい」と思う住民満足度の高い魅力的なまちづくりをすることが重要であり、誇りと愛着を持てるまちを実現していく。

問 市の人口の現状は。
総務参与 国勢調査の数値では、1985年の5万6777人をピークに減少の一途をたどり、2020年では4万2465人。

問 富津市の人口減少対策は。
総務参与 まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、着実に実行することにより、人口減少に歯止めをかけていく。

問 イオンモール富津内に設置予定の図書館の初期費用は。
教育部長 施設改修、システム構築、開館準備業務等で約1億5千

万円、図書購入費約1億円、総額2億5千万円程度を見込んでいる。
問 同規模の図書館を市で新たに建設した場合の費用は。
教育部長 図書機能の建設費約9億円に加え、エントランス、トイレなどの建設費、図書購入費等で総額約13億円が見込まれる。

問 閉校になった学校を図書館として利用してはとの意見があるが。
教育部長 閉校となった校舎は老朽化し、大規模改修等が必要となる可能性が高く、多額の費用が掛かることが予想される。

問 開館後の安全対策は。
教育部長 すでに警備体制に力を入れているが、イオンモール富津と連携を密にし、安心して利用できるよう管理運営に努めていく。

富津市立図書館 平面イメージ図



※この平面図は参考図であり、正式なものではありません

広域緊急援助隊合同訓練



12月16日に総合社会体育館などの新富地区で「関東管区広域緊急援助隊合同訓練」が開催され、渡辺務議長が来賓として出席しました。

富津市50周年記念式典



11月14日に富津公民館で「富津市市制施行50周年記念式典」が開催され、全議員が出席し、渡辺務議長が来賓として挨拶を行いました。

令和4年富津市成人式



1月9日に富津公民館で新成人の門出を祝う「令和4年富津市成人式」が開催され、渡辺務議長が来賓として出席し、祝辞を述べました。

君津市50周年記念式典



1月8日に君津市民文化ホールで「君津市市制施行50周年記念式典」が開催され、渡辺務議長が来賓として出席しました。

県南13市議員研修会



1月13日に「千葉県南三市議会議員研修会」が大網白里市で開催され、15人の議員が参加し、広石拓司氏による「なぜ自治体にとってSDGsが大切なのか」を演題とした研修を実施しました。

消防出初式



1月9日に消防防災センターで「令和4年富津市消防出初式」が開催され、渡辺務議長、山田議員（消防委員会委員長）が出席しました。

【編集後記】

1年半働かせてもらい改めて感じたことがある。切に感じたのは行政からの情報を市民の皆様へ周知し、その考え方を伝える役割である。職員が山積する課題に立ち向かい解決していく姿には頭が下がる。しかし、市民の皆様への要望や思いも理解できる。我々、議員に求められていることはしっかりと「掛け橋」になることだと思ふ。「掛け橋」とは、対岸とをつなぐことを語源としている。今後は市民と行政とをつなぐ「懸け橋」へと我々はならなければならないと改めて感じた。（晴幸）

※本会議の中継を
ご覧ください。



市議会ホームページ

3月定例会日程

2月18日（金）	10時	開会
22日（火）	10時	議案の上程
3月2日（水）	9時30分	議案質疑
3日（木）	9時30分	一般質問
4日（金）	9時30分	一般質問
8日（火）		常任委員会
9日（水）		常任委員会
15日（火）		予算審査特別委員会
16日（水）		予算審査特別委員会
22日（火）	10時	議長報告 議案審議 閉会